

## はじめに

令和2年7月豪雨において被災された村民の皆様に改めてお見舞い申し上げます。

球磨村では今回の災害により、住宅や道路・橋梁等の多くの貴重な財産が傷つきました。

そして、住宅に大きな被害を受け、仮設住宅での仮の生活を余儀なくされ、住まいを含めた生活再建の行く末に悩みや不安を抱えられておられる村民の方々が多数いらっしゃいます。

このような状況の中、抜本的な治水対策が完了するには相当な長い期間がかかると考え、この愛すべき球磨村に住み続けるには、まずは今できる防災・減災対策を早急に検討・実施することとし、この報告書をまとめました。

この報告書は、球磨村の今後の防災・減災に資することを第一の目的としていますが、国内外で頻発している気象災害への対応の一助となれば幸いです。

球磨村長 松谷 浩一

<u>はじめに</u>	<u>1</u>
<u>目次</u>	<u>2</u>
<b><u>1</u></b> <b><u>令和2年7月豪雨災害の概要</u></b>	<b><u>4</u></b>
1) 豪雨の概要	4
2) 7月3日～7月4日にかけての人吉球磨の状況	6
3) 7月3日～7月4日にかけての球磨村の状況	27
4) 7月5日以降の球磨村の状況	58
<b><u>2</u></b> <b><u>被害の概要</u></b>	<b><u>68</u></b>
1) 各地点の浸水状況	69
2) 雨量・水位・被災状況相関図	70
3) 人的被害状況	71
4) 建物被災状況	72
5) 公共施設被災状況	73
6) 被災直後の緊急指定避難所の状況	75
7) 道路啓開状況	76
8) 孤立集落発生状況	77
9) 水道復旧状況	78
10) 避難所の状況	79
11) 迂回集落の状況	80
12) 被災前後の人口変化	81
<b><u>3</u></b> <b><u>地域別検証</u></b>	<b><u>82</u></b>
1) 渡地域	82
2) 一勝地地域	88
3) 神瀬地域	93
4) 三ヶ浦地域	98
5) 高沢地域	102
<b><u>4</u></b> <b><u>避難の呼びかけと初動対応</u></b>	<b><u>106</u></b>
1) 住民への避難勧告、気象情報等の発令・伝達について	106
2) タイムラインの活用について	118
3) 村民の避難行動等の実態について	120
4) 災害対策本部の運営について	123
5) 職員の参集、活動状況について	128
6) 被害情報の収集・共有	134

7)	自衛隊、消防等関係機関と連携した救出・救助活動、安否及び行方不明者の確認等について	136
8)	関係機関と連携した医療救護活動	141
9)	応急給水の実施、水道の復旧について	145
10)	道路の交通規制について	147
11)	ライフライン（公共土木施設等）の復旧	149
12)	ライフライン（電気・電話・ガス）の復旧	152
13)	村民・報道機関への情報提供・問い合わせ対応について	153
<b>5</b>	<b>被災者の生活の支援</b>	<b>157</b>
1)	避難所の運営・避難者支援	157
2)	避難所における環境設定・感染症対策（新型コロナウイルス感染症対策）	161
3)	避難行動要支援者の避難支援・福祉避難所	165
4)	物資の手配・調達・輸送	167
5)	被災地における保健衛生対策（心のケア含む）	171
6)	災害ボランティアの受入・活用	174
7)	応急仮設住宅の建設、被災住宅の応急修理の受付	177
8)	災害廃棄物の処理	182
9)	住家被害認定調査及び罹災証明書交付	185
10)	生活再建支援金の支給について	188
11)	公費解体の実施	190
12)	学校教育の再開	192
<b>6</b>	<b>組織体制の強化</b>	<b>195</b>
1)	職員の健康管理・ケア	195
<b>7</b>	<b>その他</b>	<b>197</b>
1)	国等からの視察の受け入れについて	197
2)	他自治体からの応援職員の声	198
<b>8</b>	<b>資料</b>	
1)	アンケート調査結果	

この検証報告書は、災害の発生直前に当たる令和2年7月3日から災害対策本部を解散した令和2年11月2日までの期間を中心に、豪雨災害の事象や災害対応の初期及び応急復旧期の活動を中心にまとめたものです。

# 1. 令和2年7月豪雨災害の概要

## 1) 豪雨の概要

### 気象状況

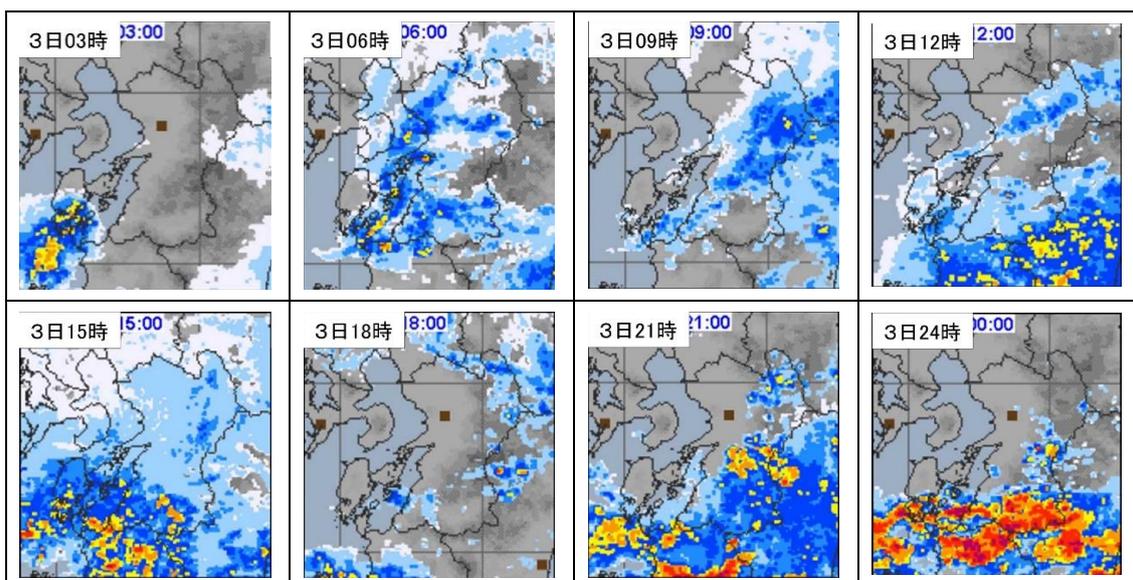
7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し4日未明には九州北部地方に進んだ。低気圧の東進に伴って3日夜には梅雨前線が九州北部地方まで北上、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、九州では大気の状態が非常に不安定となった。

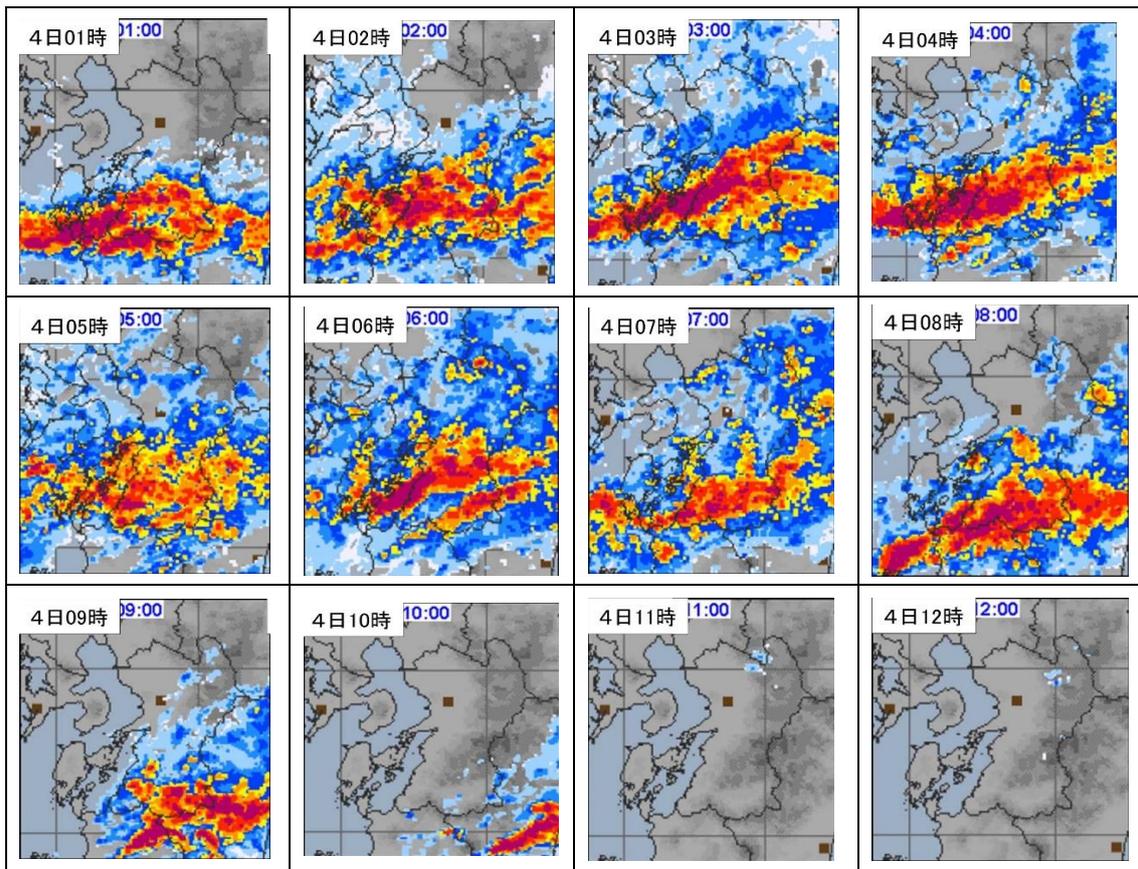
このため、4日未明から朝にかけて、熊本県では記録的な大雨となったところがあった。

### 大雨の状況

4日未明から朝にかけて県の南部を中心に局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、芦北町付近では3時20分に約110ミリの猛烈な雨を解析し、気象庁は記録的短時間大雨情報を発表した。その後も天草市、芦北町、津奈木町、人吉市、あさぎり町、球磨村、八代市付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報を発表した。また、4日4時50分に天草・芦北地方、球磨地方、宇城八代に大雨特別警報を発表した。この大雨特別警報は4日11時50分にすべて警報に切り替えた。

この大雨で1時間降水量では牛深（天草市）の98.0ミリを含む2地点、3時間降水量では牛深（天草市）の205.5ミリを含む7地点、6時間降水量では田浦（芦北町）の325.5ミリを含む9地点、12時間降水量では水俣（水俣市）の415.0ミリを含む9地点、24時間降水量では湯前横谷（湯前町）の489.5ミリを含む7地点、48時間降水量では多良木（多良木町）の418.5ミリが観測史上1位の値を更新した。





気象レーダー画像(7月4日01時~08時 1時間毎) 熊本県

**記録的短時間大雨(解析雨量)**  
 03時20分までの1時間：芦北町付近で約110ミリ、八代市坂本町付近で約110ミリ、球磨村付近で約110ミリ  
 03時30分までの1時間：芦北町付近で120ミリ以上、天草市御所浦付近で約110ミリ、津奈木町付近で約110ミリ  
 06時00分までの1時間：芦北町付近で約110ミリ  
 06時30分までの1時間：芦北町付近で120ミリ以上、球磨村付近で約110ミリ  
 08時30分までの1時間：人吉市付近で約110ミリ、球磨村付近で約110ミリ、あさぎり町付近で約110ミリ

アメダス総降水量の分布図(7月3日~4日)

